



## 読んでほしい「夏休み 推薦図書」



学科名	教育学部 児童学科
書名	西洋音楽史—「クラシック」の黄昏（中公新書）
著者名	岡田暁生
出版社名	中央公論新社
推薦書評 コメント (50字～200字)	ヨーロッパのクラシック音楽の歴史が自然に理解できる本です。普通の音楽史は、作曲家の作風やエピソードを時代順に羅列していただけなのですが、この本は逆で、ヨーロッパのキリスト教、社会情勢、風土、地政学的な事等、様々な要素の中にクラシック音楽を発見していくという内容ですので、専門家でなくても興味深くクラシック音楽の歴史が楽しめます。是非学生時代に読んでください。
所在	5F開架ポピュラーライブラリー
請求記号	SN
資料ID	14047387



## 読んでほしい「夏休み 推薦図書」



学 科 名	教育学部 児童学科
書 名	だれのせい？
著 者 名	ダビデ・カリ[作]／レジーナ・ルック-トゥーンベレ[絵]／ ヤマザキ マリ[訳]
出版社名	green seed books
推薦書評 コメント (50字～200字)	<p>ある日、クマの勇士の住む砦がダムの水で壊されてしまいます。さあ、クマの砦を壊した犯人は誰だったのでしょうか？</p> <p>犯人の正体に子どもたちは面白みを感じるかもしれません。おとなは、犯人がわかったあとのクマの行動に、平和とは何かを考えさせられます。</p> <p>今日的な問題を扱いながら過度に今日的になりすぎず、やさしい目をした動物たちに寓話劇をみせてもらっている気持ちで楽しめる絵本です。</p>
所 在	5F開架こども図書館
請求記号	E
資料ID	14047107



## 読んでほしい「夏休み 推薦図書」



学 科 名	教育学部 児童学科
書 名	チャンス
著 者 名	ユリ・シュルヴィッツ[作]／原田 勝[訳]
出版社名	小学館
推薦書評 コメント (50字～200字)	『よあけ』で知られる絵本作家シュルビッツの自伝。「チャンス」という言葉には「偶然」という意味があります。ユダヤ人であったシュルビッツが生き残ったのは「偶然」。国境を超えるときに、若いドイツ兵に頭を撫でられお菓子までもらったのが「偶然」なら、ユリという名前のためにパスポートを貰えなかったのも「偶然」。移動したために死んだ人もいれば、残ったために死んだ人もいる。戦争とは何かひしひしと伝わってきます。
所 在	5F開架こども図書館
請求記号	936/Sh99
資料ID	14047395



## 読んでほしい「夏休み 推薦図書」



学 科 名	教育学部 児童学科
書 名	オンネリとアンネリのおうち
著 者 名	マリヤッタ・クレンニエミ[作]／マイヤ・カルマ[絵]／渡部翠[訳]
出版社名	福音館書店
推薦書評 コメント (50字～200字)	<p>庭にはバラ。部屋には自分にぴったりの玩具と本と洋服。お料理もお掃除も何でも自分でできてしまいます。こんなおうちで暮らしていたら、コロナ禍のオンライン授業だって楽しかったかもしれません。</p> <p>小学生の仲良しふたり組が偶然お金を拾ったことから、夢のような話が始まります。でもよく読んでいくと、ふたりにも、お巡りさんにも、おとなりさんにも孤独があって…。居場所を必要としている人がちゃんと幸せになる温かい話です。</p>
所 在	5F開架こども図書館
請求記号	993.613/Ku59
資 料 I D	04368983



## 読んでほしい「夏休み 推薦図書」



学 科 名	教育学部 児童学科
書 名	イギリス ナショナル・トラストを旅する
著 者 名	横川節子
出版社名	千早書房
推薦書評 コメント (50字～200字)	海外研修が再開されました。イギリスを旅する前にNational Trustについて学んでみては如何でしょうか？かつてイギリス人にとって自然は恐怖の象徴でした。意識を変えたのはワーズワースの詩。詩によって、湖水地方の自然は賛美と鑑賞の対象になります。観光客が押し寄せ環境破壊が問題になるとラスキンが環境保全を訴え、ローンズリー牧師らは環境保護団体National Trustを設立します。歴史を知ると、さらにイギリスの自然が美しく感じられるでしょう！
所 在	6F開架閲覧室
請求記号	293.3/Y76
資料ID	13234922



## 読んでほしい「夏休み 推薦図書」



学 科 名	教育学部 児童学科
書 名	昔話の扉をひらこう
著 者 名	小澤俊夫
出版社名	暮らしの手帖社
推薦書評 コメント (50字～200字)	<p>コロナ禍で、学生も教師も必死で学びを止めない努力をしてきました。でもいざ対面授業が戻ると、人間同士が向かい合い、なまの声で伝えあうことの大切さをひしひしと感じないではられません。</p> <p>昔話研究者の小澤俊夫さんは、「子どもは社会の末っ子。今、不安の多い時だからこそ、暮らしのなかで、生の声でお話をしあう時間を大切にしてほしい」と願います。</p> <p>改めて、子どもたちにお話を語るこの意味を一緒に考えてみませんか？</p>
所 在	6F開架閲覧室
請求記号	388/O97
資料ID	14047409



## 読んでほしい「夏休み 推薦図書」



学科名	教育学部 児童学科
書名	私のことば体験
著者名	松居直[著]／安野光雅[挿画]
出版社名	福音館書店
推薦書評 コメント (50字～200字)	児童書編集者として、『ぐりとぐら』や『おおきなかぶ』を生み出し、『さんびきのやぎのがらがらどん』や『エルマーのぼうけん』を日本に紹介してきた松居直の自伝。絵本作りの根底にある、平和への思いや、子どもへ生の言葉を届けることへの思いが詰まっています。絵本が好きな方、ぜひこの本を読んで、何故自分が絵本好きになったのかを考えてみてください！
所在	6F開架閲覧室
請求記号	289/Ma77
資料ID	14047417